

単元名 めざせ楽き名人(2)

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、音色や響きに気を付けて演奏する技能や、互いの音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けることができる。
- (2) リコーダーの音色、旋律の流れ、掛け合いや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもつことができる。
- (3) リコーダーの響きや各声部の役割に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

03070303_001

【教材名】あくびのうた（歌唱 器楽） 冬さん、さようなら（器楽） (P. 52～P. 53)

【準備等】範唱CD、範奏CD、リコーダー

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「あくびのうた」を歌ったりリコーダーで演奏したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 範唱CDを聴いて、学習課題をつかむ。 ★ ひびきを大切にしよう ○ 歌詞唱し、曲の感じをつかむ。 ○ 新しい指使いに慣れる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ファ」「ミ」「レ」の運指を知る。 ・ 「ファ」「ミ」「レ」の練習をする。 ○ 「あくびのうた」に合わせてリコーダーを演奏する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ リコーダーの部分を演奏する。 ・ 歌に合わせて演奏する。 <p>2 「冬さん、さようなら」をリコーダーで二重奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 範奏を聴いて旋律を覚え、主旋律（上声部）を階名唱する。 ○ 上声部・下声部の練習をする。 ○ 掛け合いや重なりを感じ取り、聴き合いながら二重奏をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 途中でリコーダーの音が出てくことに気付かせ、その音はまだ学習していないことを伝える。 ・ リコーダーの部分は階名唱する。最初があくびの真似をしてゆったりとした感じをつかませてもよい。 ・ 低い音は、口の中を広くして「ロー」や「トオー」と発音する感じでゆったりとした息で優しく吹くようにさせる。 ・ 「ファ」「ミ」「レ」を使った短いフレーズを繰り返し練習する。例えば「ファーミ」「ミレレ」など。 【新出】リコーダー「ファ」「ミ」「レ」の運指 ・ 隣同士で歌とリコーダーに分け、音色や指づかいを確かめ合ってもよい。 【共通事項】音色 【評】リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりを捉える活動を通して「知識」を評価する <ul style="list-style-type: none"> ・ 拍子を意識させ、3拍子にのって歌うことができるようにする。 ・ 2段目はブレスに注意する。 ・ 低い音はゆったりとした息で吹く。 【共通事項】音の重なり 【新出】ナチュラル 【評】リコーダーの音色、旋律の流れ、掛け合いや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 【評】音色や響きに気を付けて演奏したり、互いの音を聴き、音を合わせて演奏する活動を通して「技能」を評価する。 【評】リコーダーの響きや各声部の役割に合った表現活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】